

アル・アクサ洪水第605日：主要な抵抗作戦ジャバリア | アンサールッラがテルアビブを攻撃 | さらに『援助』名目の虐殺

Palestine Chronicle, 2025年6月2日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



イスラエルはガザでの虐殺を続けている。(Photo: via QNN)

主要事項

* ガザのナセル病院関係者の報告によれば、ラファ西にある米国民間会社の援助物資配給センター近くで、イスラエル占領軍の発砲で3人が死亡し、35人が負傷した。

* イエメンのアンサールッラの最高政治評議会のメフディ・アル・マッシュアート代表は、イスラエルに投資する外国会社に警告を発した。「我々は我々の警告に応じてイスラエルから投資を引き揚げ、深刻な結果を回避するという返事を一部の会社から受けている。他の会社も同じことをするように勧告する」と述べた。

* ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降のガザの犠牲者は、死者54,418人、負傷者124,190人となった。

最新情報

6月2日 10:39 pm (パレスチナ時間)

* パレスチナ・クロニクル：UNRWAのフィリップ・ラザリーニ事務局長は「国際メディア」がガザに入って、今朝の恐ろしい犯罪を含む現在進行中の残虐行為を「独自に報道」する要望を、決して撤回しない。西側諸国のジャーナリストはこの要求を何か月間もあげていたが、実際にはこのジェノサイドをガザ現場から報道した西側のジャーナリストは一人も

いない¹。彼らにはそれをするスキル、人脈、現地と社会に関する知識が欠けているのだ。ヴィクトリア・ブリテインの論文を読みたい。(Victoria Britain, “No Western Eyes Needed: Gaza is Already Seen through Palestinian Lenses”, [Palestine Chronicle, June 2, 2025](#))

*イスラエル・メディア：イスラエルの各メディアは、今夕ガザ回廊北部のジャバリヤでイスラエル軍車両が攻撃され、3人のイスラエル兵が死亡、11人が負傷したことを報道した。

*カン：イスラエル軍のエヤル・ザミール参謀総長は疲労を理由にガザの戦場へ戻ることを拒否した兵士2人を投獄する決定を承認した。また、他に強度の疲労を理由に戦場へ戻りたくないと言った兵士が11人いた。2人の兵士はナハル旅団所属兵で、明日軍刑務所送りとなると、当局が発表した。

6月2日 9:19 pm

*イエメン・メディア：イエメンからミサイル1発が発射され、それを迎撃する防空システムが作動した。

*イスラエル・メディア：ジャバリヤ作戦は複雑で予測困難な待ち伏せ攻撃から始まった。負傷兵を搬送しようとする軍ヘリコプターも銃撃された。

*ハマス声明：アル・カッサム旅団の戦士たちはガザ回廊北部のジャバリヤ難民キャンプの東でイスラエル占領軍と至近距離で戦闘し、敵兵数人を死傷させた。この戦闘は今も続いている。

*イスラエル・メディア：ジャバリヤで死傷した兵士は第9旅団所属兵で、軍はジャバリヤでの戦闘はまだ続いていると述べた。

*イスラエル・メディア：ガザ回廊のジャバリヤ地区の「困難な」安全保障事件はまだ続行中である。3機の軍ヘリコプターが負傷兵救出に使われているが、ヘリコプターへの攻撃が激しくて、死者と負傷兵の搬送が失敗に終わった。

*イスラエル・メディア：ハマーH1軍用車両(米国が開発した4輪駆動ユーティリティ車)がガザ回廊で対戦車ミサイルで攻撃された。3人の兵士が死亡し、2人の兵士が負傷した。

*イスラエル・メディア：イスラエル軍はハーン・ユニス市地域に攻撃をするから「即時避難せよ」と命令を出した。ハーン・ユニス市の4区画の住民に同市西部へ即時避難せよと勧告したのだ。

*パレスチナ・クロニクル：「誰に対しても二度とあってはならない」と、アウシュビッツを生き延びた私の両親が私にメッセージを伝えた。あのような犯罪を支持して英国国民にどんな利益があるのでしょうか？ ハイム・ブレスース・ザブナーの素晴らしい論文を読みたい。(Haim Bresheeth-Zabner, “Never Again is Never Again for Anyone: Britain’s Role in the Genocide in Gaza”, [Palestine Chronicle, June 2, 2015](#))

6月2日 6:34 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍は西岸地区ジェニンの南西部の町ファフマを襲撃した。

*アル・カッサム旅団声明：我々は昨日ハーン・ユニス市の南のキザン・アンナジャール地区でイスラエル軍戦車を攻撃した。

6月2日 6:27 pm

*パレスチナ・クロニクル：国境なき医師団は米国支援のイスラエルのガザ救援物資配給計画を「効果がない」だけでなく、「人道に対する犯罪になる可能性がある」と非難した。

6月2日 5:37 pm

*マアリブ紙：今日西岸地区北部でイスラエル兵に対する攻撃未遂事件があった。イスラエル軍が容疑者に発砲したが、その後の詳細は発表していない。

*アル・ジャジーラ：スペインのペドロ・サンチェス首相は人道と連帯と正義の名において、イスラエルがガザで行っている「残虐行為」をやめることを訴えた。彼はまたイスラエルがガザで1年半にわたって行っているジェノサイドを非難した。

¹ 彼らはイスラエルから一流ホテルを提供され、イスラエル政府の発表だけを記事に書いて本社へ送るという報道をしている。

*UNRWA：国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）は、イスラエルがほぼ20か月間にわたってUNRWAとその中立性を「根拠のない主張」で中傷・非難し、UNRWAのパレスチナ難民救済事業、特にガザにおける活動を妨害する組織的キャンペーンを展開していると抗議した。

*アル・ジャジーラ：ガザのパレスチナ保健省のムニール・アル・ブルシュ局長は、彼の妹の家を狙ったイスラエル軍の爆撃で妹の家族10人が死亡したことを発表した。

6月2日 5:32 pm

*パレスチナ・クロニクル：最新の FloodGate ポッドキャストで、パレスチナ・クロニクル編集長のロマーナ・ルベオとパレスチナ系米国人医師オマール・アクテルが、二度ガザで働いた——2024年8月と12月にアル・アクサ病院とナセル病院で——ことがある米国の医師免許を持つ救急医のミニ・サイド医師とインタビューした。彼女の証言は生々しくて、手厳しいものである。彼女は現地での経験に基づき、ガザの医療システムの完全崩壊、意図的なパレスチナ人への非人間化、そして戦争とガザ包囲が子どもや家族への残酷な影響を語っている。[\(Romana Rubio, “Bearing Witness in Gaza: FloodGate Exclusive Interview with Dr.Mimi Syed”, Palestine Chronicle, June 2, 2025\)](#)

6月2日 4:20 pm

*パレスチナ・クロニクル：今日、数百人の不法入植者がアル・アクサ・モスクの敷地に侵入し、ユダヤ教祝日のシャブオットを祝った。エルサレムのイスラム教財団（ワクフ）局は500人以上の不法入植者がイスラエル軍に守られてイスラム教聖地へ乱入したと声明を出した。

6月2日 3:42 pm

*アル・ジャジーラ（医療筋を引用）：ガザ回廊北部のジャバリヤ・アル・バラドの民家をイスラエル軍が空爆し、子ども6人を含む16人のパレスチナ人が死亡した。

*ガザ保健省：救援物資配給センター関連の被害者の数は死者75人、負傷者約400人となった。

*アル・カッサム旅団声明：一昨日我々はガザ回廊南部のアル・カラララの東に集合していた敵兵に13発の迫撃砲弾を浴びせた。また、同じ日、ハーン・ユーニス市東のサードアイ軍事拠点を短距離ラジウム・ロケット3発で攻撃した。

*アル・ジャジーラ：ナセル総合病院の医療関係者の報告によると、ハーン・ユーニス市中心部をイスラエル無人機からの銃撃でパレスチナ人1人が死亡した。

6月2日 1:15 pm

*アル・ジャジーラ：アル・マアムダニ病院の医療関係者からの報告によると、イスラエル軍のガザ回廊北部のジャバリヤ・アル・バラドの民家への砲撃で6人のパレスチナ人が死亡し、数人が負傷した。

*ガザ市民防衛団：ジャバリヤ・アル・バラドのオールド・ガザ通りアル・バラシュ家へのイスラエル軍の砲撃で数人のパレスチナ人が死傷した。

*ガザ保健省：どの病院でも外科用器具と医療機器の厳しい不足のために救命活動が困難になっている。

*アル・ジャジーラ：英国のキール・スターマー首相はガザの状況は日ごとに悪化していると言った。すぐに停戦し、人道支援物資を早急に入れるべきだと言った。首相は英国は同盟諸国と協力して、ガザの状況が容認できないことをはっきりさせる働きをしていると述べた。

6月2日 12:05 pm

*イスラエル・メディア：イスラエル軍の工作機械がハーン・ユーニスの東にあるヨーロッパ・ガザ病院の壁を破壊し、その付近をブルドーザーによる整地作戦を行った。

*ガザ政府メディア・オフィス：ラファのいわゆる救援物資配給センター近くでイスラエル占領軍は3人の住民を殺害し、35人を負傷させた。これで5月27日以降いわゆる救援物資配給センターでの虐殺の犠牲者数は52人となった。占領軍は燃料のガザ搬入を意図的に止めている。

*声明：アル・クッズ旅団は、アル・アクサ殉教者旅団（ファタハの軍事部門）と組んで、ハーン・ユーニスの税関検問所近くでイスラエル軍兵士と車両を砲撃した。

*アル・ジャジーラ：アッシーファ病院の医療関係者の報告によれば、ガザ市南西部のタル・アル・ハワ地区でイスラエル無人機の攻撃で子ども1人が死亡した。

6月2日 10:39 pm

*パレスチナ・クロニクル：UNRWAは2023年10月以降50,000人の子どもがガザで死傷しており、「誰も安全でない、誰も逃れられない」と警告した。「ユニセフによれば、50,000人の少年少女が20か月間で殺害され負傷させられた」と、UNRWAの広報部長ジュリエット・トゥーマが、今日アイルランドのRTE通信のインタビューで述べたことを、Xに投稿した。

6月2日 12:05 pm

*アル・ジャジーラ：アッシーファ病院の医療関係者の報告によれば、ジャバリヤ難民キャンプのフルージャ地区へのイスラエル軍の砲撃で4人のパレスチナ人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：ガザ回廊中部のデイル・アル・バラフ南のアル・バラカ地区の民家へのイスラエル軍の爆撃で何人かのパレスチナ人が負傷した。

*アル・ジャジーラ：ガザ市東のアットゥファーフ地区へのイスラエル軍の砲撃で何人かのパレスチナ人が負傷した。

*アル・アクサ殉教者旅団：我々は、昨日、ハーン・ユニスの税関検問所近くでイスラエル占領軍の車両の群れを迫撃砲で攻撃した。

*アンサールッラ：アンサールッラの最高政治評議会のメフディ・アル・マッシュアート代表は、イスラエルに投資する外国会社に警告を発した。「我々は我々の警告に応じてイスラエルから投資を引き揚げ、深刻な結果を回避するという返事を一部の会社から受けている。他の会社も同じことをすることを勧告する」と述べた。

*マアリブ紙：イスラエル安全保障当局は、イスラエル軍がガザを遠隔爆破するために、ブービートラップを仕掛けた装甲兵員輸送車（APC）と無人機を使用したと述べた。当局は、ブービートラップAPC使用はガザでイスラエル兵の命を危険に晒さないためだと言った。

6月2日 10:39 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルの刑務所スデ・テイマン収容所は「サディスティックな拷問キャンプ」で、数十人のパレスチナ囚人が「生きて入り、遺体袋に入れられて放置される」と、そこで勤務したイスラエル予備役兵が語った。「私はガザ回廊から負傷したパレスチナ人が収容所に到着し、治療も食事もなくに飢えさせられ、トイレの使用も許されなかったので、小便も大便も垂れ流して数週間放置されるのを見た。今もあの臭い匂いを覚えている」と、兵士は匿名で昨日のハアレツ紙の意見記事に投稿した。

6月2日 12:05 pm

*アル・ジャジーラ：（情報筋を引用）：これまで547人の入植者がイスラエル占領軍に保護されてアル・アクサ・モスクへ侵入した。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍は、今日明け方ガザ回廊中部のデイル・アブ・バラフを攻撃した後、アル・アンサール・モスクを砲撃して破壊した。

*アル・ジャジーラ：ガザ回廊のNGOネットワークの代表はアル・ジャジーラの取材で、「いわゆる救援物資センターはイスラエル占領軍の目的を達成する為の軍事拠点にすぎない」と語った。そして、占領軍は以前の援助物資配給システムを破壊していると付言した。

*アル・ジャジーラ：北ガザの救急サービス局長は、「この24時間に援助センター付近で占領軍の発砲により35人の死者が発生した」と述べた。さらに、彼らの車両が一部の負傷者に到達するのをイスラエル占領軍が依然として妨げていると付け加えた。

*アル・ジャジーラ：ナセル病院の医療関係者の報告によると、イスラエル軍はラファ西にある米国民間会社の援助物資配給センター近くで物資を取りに来た人々に発砲し、3人のパレスチナ人が死亡した。

6月2日 7:36 am

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍は西岸地区のヘブロン（アル・ハリール）の南のドゥーラ市を攻撃し、釈放した人を含む多くのパレスチナ人を逮捕した。

6月2日 7:34am

*パレスチナ・メディア：ナセル病院の医療関係者の報告によると、ラファ市西の米国民間会社の救援物資配給センター近くでイスラエル軍の発砲で3人のパレスチナ人が死亡し、35人が負傷した。

6月2日 5:04am

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍航空機がデイル・アル・バラフのアル・アンサール・モスクを3発のミサイルで攻撃して、破壊した。